



学校教育目標 校訓 耕学一如 冷暖自知
教育目標 自律 創造 奉仕

目指す学校像 「調和と共生」「文武両道」「地域人材の育成」「キャリア教育の充実」

学校自己評価

学校自己評価実施計画		達成状況と改善策			
本年度の重点目標	具体的方策	方策の評価指標	方策の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
新しい学習指導要領の考え方に基づく教育課程の偏成	新しい学習指導要領の考え方に基づいて、本校として学科の特性を生かすより適切な教育課程を検討し編成する。	教職員アンケート「適切な教育課程の編成が出来る」の割合 ・80%以上 A ・60%以上 B ・60%未満 C	教職員アンケート「適切な教育課程の編成が出来ている、大体出来ている」の割合が87.7%	A	今後も更に検討を重ね、本校の特性を生かすより適切な教育課程の編成に努める。また、観点別評価についても取り組んでいく。
	「伸びる授業」の実践	確かな学力の定着を図るため、生徒個人の学びの意欲が高まる「わかる授業」の展開を工夫する。	生徒アンケート「授業がわかる」の割合 ・80%以上 A ・60%以上 B ・60%未満 C	生徒アンケート(2学期末実施)「普通の授業がよくわかる・わかる」92.6%	A
	授業研究週間において、同僚の授業を相互に参観することにより、授業技術の向上につなげる。	授業見学の回数 ・一人年間5回以上 A ・一人年間3回以上 B ・一人年間3回未満 C	授業研究週間(6・11月実施)における授業見学報告書の集計結果対象職員平均4.2回	B	
心の教育とキャリア教育の推進	ネットトラブル等の防止を図りながら、情報機器やSNSの適切な利用方法を学ばせる。	生徒アンケート「適切なSNSの利用ができた」の割合 ・90%以上 A ・70%以上 B ・70%未満 C	生徒アンケート「スマホを適切に良く使用できている、大体できている」89.7%	B	スマホの様々な危険性を知らせ、理解するために、さらなる検討・改善・指導を行いたい。
	各学年及び各学科に応じた進路ガイダンスや進路相談を実施し、生徒の進路意識の高揚を図る。	生徒アンケート「進路意識の高揚」 ・80%以上 A ・60%以上 B ・60%未満 C	生徒アンケート「高まった(56.4%)、やや高まった(38.0%)」94.4%	A	進路ガイダンスができた学年とそうでない学年があったが、クラス担任や学年としての働きかけもあり、意識を高めることができた。
5学科の特性を生かした連携の深化	体験学習や探究的な活動を通し、5学科の特性を生かした連携を深化させる教育活動の充実を図る。	生徒アンケート「他学科の理解を深めることができた」 ・80%以上 A ・60%以上 B ・60%未満 C	96%以上の生徒が肯定的な回答であった。コロナ禍で活動が制限される中、工夫して活動し、成果を上げ、良好な発表を行った結果であると思われる。	A	新型コロナの影響は先が見えない状況であるが、各学科の活動の充実と連携の深化を図っていければと思う。展示物や収穫祭の実施の形体については検討していければと思う。

学校関係者評価

実施日 令和3年1月26日
評価委員からの評価・意見等
学校を通して人生に気づきを得られるような教育を実施して欲しい。最新の知識・技術を学べるようにして欲しい。
分かる授業が実施されていると思う。今後も授業を大切に、毎時間しっかりとした目標を持って指導して欲しい。生徒一人一人がいかにやる気を出せるよう係わり方を工夫して欲しい。
今後もネットトラブル防止のための教育に継続して取り組んで欲しい。
3年間で進路を決め、それが達成できるように指導して欲しい。人生に対する目標を明確化していけるよう生徒と教員が一体となって切磋琢磨して欲しい。
コロナ禍の中でも十分達成できている。地域連携も含め、5学科連携は本校の魅力である。更に、普通科でも何か物を作り出す楽しさを体験できるとよい。